

## 事務事業評価における総括

部 局 名	都市部	記入責任者	大野木 英夫
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>都市部 5 課では、「災害応急活動」、「庁内共通事務」、「部内共通事務」を除き、88 事業に取り組みました。これらの評価の内訳は、S 評価 64 事業、A 評価 8 事業、B 評価 1 事業、C 評価 2 事業、Z 評価 2 事業、実績なし 11 事業でした。</p> <p>「Z」及び「実績なし」の評価事業を除き、指標を概ね達成した事業は 65 事業（86.7%）、達成できなかった事業は 10 事業（13.3%）でした。また、成果に着目すると、成果があがった事業は 72 事業（96.0%）、今後成果が見込める事業は 3 事業（4.0%）であり、概ね順調に進捗したと考えています。</p> <p>また、時間外勤務の時間数については、前年度と比較し、約 42%減となりました。その主な要因は、昨年度時間外勤務が多かった都市政策課及び建築指導課において働き方の見直しを行ったことによるものです。</p> <p>都市政策課の J R 相模線北茅ヶ崎駅周辺整備事業については、駅自由通路橋上駅舎化等の基本設計に向けて J R 東日本との勉強会を行うなど検討は進めたが、目標値に掲げた基本設計の実施に至らなかったため C 評価としています。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>C 評価とした J R 相模線北茅ヶ崎駅周辺整備事業については、J R 東日本との協議を引き続き行いつつ、適切な時期の予算化をも含めてスケジュール調整を行う必要があると考えています。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた各事業の今後の方向性について】</p> <p>都市政策課の都市防災推進事業における感震ブレーカー補助制度については、地域からの要望が非常に多く補助が追いつかない状況にあるため、早期に対応できるよう予算化をも含めた検討を進めます。</p> <p>景観みどり課のみどりの基本計画推進事業における緑化推進団体の活動に対する補助金については、これまでみどり豊かなまちづくりの推進に寄与していましたが、ここで一定の役割を果たしたものと考え、平成 30 年度からの当該補助金の廃止を検討します。</p>			